

### 事例3 自分や友達の「いいところ」を見つけ、自己肯定感を高める事例

- 学年 自閉症・情緒障害特別支援学級（1年、4年、5年、6年）
- 指導内容及び指導の形態 自立活動
- 事例のポイント
  - ①様々な発表方法を提示し、個々の課題に応じて選べるように工夫する。
  - ②児童同士で意見を出し合うことで、自分や友達の良さに気付く活動にする。
  - ③個々の目標を明確にした集団での自立活動により、人との関わりを学ぶ。
  - ④振り返りを行うことで、内容を定着しやすくし、充実感を得られるように工夫する。
  - ⑤自己の生き方を考える機会を作ることで、自己理解を深める活動にする。
  - ⑥ICT端末を活用することで、児童みんなが学習内容を共有しやすくなるように工夫する。

#### 1 主題名 「いいところさがし」

#### 2 主題設定の理由

本学級の児童は8名（1年男子2名、4年男子1名、5年男子2名、5年女子2名、6年男子1名）で構成されている。得意なところや「いいところ」がたくさんあるのに、自信がもてない児童が多い。一人一人「マイノート」を作成して、自分を見つめたり、「いいところ」を認める教師からのコメントを書いたりして利用しているが、教師から認められるよりも、友達から褒められたり、嬉しい言葉をかけられる方が表情が良く、記憶にも残る傾向にある。

そこで本主題では、まずは自分の「いいところ」を見つめ、さらに友達から自分がどう見られているのかを知ることで、新たな自分の良さに気づき、自信をもって生活できるように働きかけていく。また、友達の「いいところ」を探することで、友達の良さに目を向けられるようにし、よい人間関係の形成につなげていく。自分の良さや友達の良さを言葉にする中で、それらが心に浸透し、自己肯定感が高まるような活動にしたい。

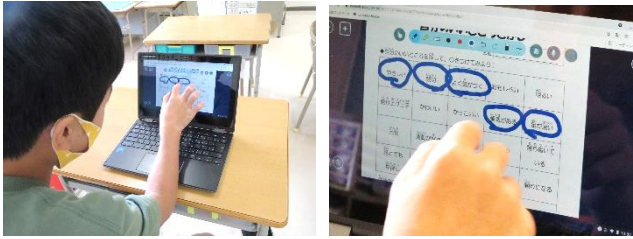
#### 3 児童の実態

児童の実態	
A 1年	自己肯定感が低く、「どうせぼくは・・・。」と発言することが多い。友達が大好きで、積極的に関わろうとする。自分の思い通りにならないときや嫌な言葉を言われたときに、暴言・暴力が出てしまうが、冷静になると自分を客観視でき、素直に謝ることができる。落ち込んでしまったときに教師が励ましてもあまり響かないが、友達に励まされると嬉しそうにする。友達の「いいところ」を見つけることが得意で、よく「〇〇さんすごいね。」と褒めている。
B 4年	自分のことを客観視することや、自分の気持ちを言葉で表現することが苦手である。またネガティブな考え方になりがちで、自己肯定感が低い。友達と関わることは好きで、休み時間は友達とよく遊んでいる。けんかをすることもあるが、すぐに仲直りができる。友達の「いいところ」を見つけて伝えることが得意である。自分の話をすることは得意だが、友達の話を聞くことが苦手なので、トラブルになってしまうことが多い。またそれにより、自分に自信がもてないことも多い。記憶することが苦手なので、紙などに記録しておくことで何度も見返して定着することができる。
C	以下省略
D	
E	
F	
G	
H	

#### 4 目標

- (1) 友達の「いいところ」を見つけて、発表することができる。  
 〈6コミュニケーション (3)言語の形成と活用〉
- (2) 友達の「いいところ」を探し、それを伝えることでよい人間関係を築く。  
 〈3人間関係の形成 (1)他者との関わりの基礎〉
- (3) 自分を客観的に見ることを経験して自己理解を進め、新たな自分の良さを発見し、これからの生活でよりよい自分になれるよう努力しようとする意欲を育てる。  
 〈3人間関係の形成 (3)自己の理解と行動の調整〉

#### 5 指導計画（4時間扱い）

	授業目標	授業時数
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートの自分の「いいところ」に丸を付ける。（タブレット）</li> <li>・個別の時間に、分からない言葉を説明しながら記入する。</li> </ul> 	1
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアの友達の「いいところ」を見つけ、ワークシートに記入する。</li> <li>・個別の時間に、教師と話しながら記入する。</li> </ul>	1
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の「いいところ」を発表する。</li> <li>・友達の「いいところ」を発表する。</li> <li>・みんなで友達の良さを共有し、自分の良さや友達の良さを改めて知る。</li> </ul>	1 (本時)
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なりたい自分のイメージを明確にする。</li> <li>・これからどのように生活すれば「なりたい自分」になれるのか考え、具体的な目標を立てる。</li> <li>・目標カードに記入し、毎日確認・振り返りができるようにする。</li> </ul>	1

特支編成要領 P25～ 指導計画作成上の留意事項(11)(12)

#### 6 本時の構成（3／4）

##### (1) 本時の目標

##### ①共通目標


- みんなの発表を聞き、一人一人「いいところ」が違うということに気付くことができる。
- 自分では気付かなかった自分の「いいところ」を知ることができる。

##### ②個人目標

A 1年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の「いいところ」と友達の「いいところ」を、発表のルールに従って、挙手して発表することができる。</li> <li style="text-align: right;">〈6コミュニケーション (3)言語の形成と活用〉</li> <li>・友達に自分の良さを認めてもらうことのうれしさに気付くことができる。</li> <li style="text-align: right;">〈3人間関係 (1)他者との関わりの基礎〉</li> </ul>
B 4年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達の「いいところ」を見つけてたくさん発表することができる。</li> <li style="text-align: right;">〈6コミュニケーション (3)言語の形成と活用〉</li> <li>・自分では気付かない自分の良さがあることに気付き、自信をもつことができる。</li> <li style="text-align: right;">〈3人間関係 (3)自己の理解と行動の調整〉</li> </ul>

C	以下省略
D	
E	
F	
G	
H	

(2) 展開

配時	学習活動	指導上の留意点 (※指導の手立て *評価の観点) ○児童の活動 ◎予想される児童の反応 □指導者の主な指示、発問等	備考				
10分	1 おやつゲームで心と体をほぐす。	<p>○始まりの挨拶をする。 □おやつゲームをするので、黒板の前に集まってください。 □今日のリーダーは、○○さんと△△さんと□□さんの3人です。 □間違えたときは、笑顔で「ま、いっか。」の呪文ですね。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th style="width: 50%;">全体</th> <th style="width: 50%;">個別</th> </tr> <tr> <td> <p>※楽しい雰囲気 で授業がスタートできる ように、たくさん褒める声かけ をする。</p> </td> <td> <p>◎A…失敗への不安からやりたくない気持ちが前面に出る。 ※できそうなら一緒に参加するように声かけをする。</p> <p>◎B・D…うまく聞き取れずイライラしてしまう。 ※思い通りにいかなくても、パニックにならないよう声かけをする。</p> <p>◎C…うまく体が動かせず、途中でやめてしまう。 ※座ったままでよいということ、できる動きだけやってみようと言かけする。</p> <p>◎E…楽しくなりすぎて大きな声を出してしまう。 ※「2の声」でやろうと言かけをする。</p> <p>◎F・G…はずかしくて、あまりやりたがらない。 ※できたときにおおいに褒め、できていることに目を向けられるようにする。</p> <p>◎H…下級生に優しく声かけしながら、みんなと楽しむ。 ※優しい行動を認めて褒め、持続できるようにする。</p> </td> </tr> </table>	全体	個別	<p>※楽しい雰囲気 で授業がスタートできる ように、たくさん褒める声かけ をする。</p>	<p>◎A…失敗への不安からやりたくない気持ちが前面に出る。 ※できそうなら一緒に参加するように声かけをする。</p> <p>◎B・D…うまく聞き取れずイライラしてしまう。 ※思い通りにいかなくても、パニックにならないよう声かけをする。</p> <p>◎C…うまく体が動かせず、途中でやめてしまう。 ※座ったままでよいということ、できる動きだけやってみようと言かけする。</p> <p>◎E…楽しくなりすぎて大きな声を出してしまう。 ※「2の声」でやろうと言かけをする。</p> <p>◎F・G…はずかしくて、あまりやりたがらない。 ※できたときにおおいに褒め、できていることに目を向けられるようにする。</p> <p>◎H…下級生に優しく声かけしながら、みんなと楽しむ。 ※優しい行動を認めて褒め、持続できるようにする。</p>	おやつカード
全体	個別						
<p>※楽しい雰囲気 で授業がスタートできる ように、たくさん褒める声かけ をする。</p>	<p>◎A…失敗への不安からやりたくない気持ちが前面に出る。 ※できそうなら一緒に参加するように声かけをする。</p> <p>◎B・D…うまく聞き取れずイライラしてしまう。 ※思い通りにいかなくても、パニックにならないよう声かけをする。</p> <p>◎C…うまく体が動かせず、途中でやめてしまう。 ※座ったままでよいということ、できる動きだけやってみようと言かけする。</p> <p>◎E…楽しくなりすぎて大きな声を出してしまう。 ※「2の声」でやろうと言かけをする。</p> <p>◎F・G…はずかしくて、あまりやりたがらない。 ※できたときにおおいに褒め、できていることに目を向けられるようにする。</p> <p>◎H…下級生に優しく声かけしながら、みんなと楽しむ。 ※優しい行動を認めて褒め、持続できるようにする。</p>						
							
2分	2 前時までの学習内容を振り返り本時の課題を知る。	<p>○今日も「いいところ」さがしの続きを行うことを知る。 □自分の「いいところ」と友達の「いいところ」を書いたことを振り返り今日はそれを発表することを伝える。 ○発表の手順を聞く。 □ペアごとに、前に出て発表してもらいます。 □自分の「いいところ」、ペアの友達の「いいところ」を順番に発表してください。</p>					

	<p>※発表原稿を手渡す。</p> <p>①ぼく／わたしの「いいところ」は〇〇と△△と・・・です。</p> <p>②ぼく／わたしが見つけた～さんの「いいところ」は〇〇と△△と・・・です。</p>	<p>◎A・B・C・F・G…みんなの前で発表することへの不安が大きくなる。</p> <p>※発表原稿があるから安心するように伝える。</p> <p>事例のポイント① 発表原稿を読んだり、友達や教師と読んだり、声は出さずに指し棒で発表したり、個に応じた様々な発表方法を選択できるようにする。</p>	発表原稿
--	---	--	------

20分	3発表	<p>□発表するペアは前に出て、スクリーンに映った自分の「いいところ」を読み上げる。さらにペアの友達は、相手の「いいところ」を読み上げる。</p> <p>①ペアごとに発表する。 ②他に「いいところ」の付け足しがある場合は発表する。 ③自分の視点と友達の視点を比較する。</p> <p>これを4ペア繰り返す。</p> <p>□ペアはA・H、B・G、D・F、C・E</p> <p>□自分で見つけた「いいところ」と友達が見つけてくれた「いいところ」を隣に並べて、比較しやすくする。</p>	スクリーン ICT端末 プロジェクター ワークシート
-----	-----	---	-------------------------------------

**自分のいいところさがし**

名前 \_\_\_\_\_

▶自分のいいところを選んで、○をつけてみよう！

やさしい。	親切。	よく気がつく。	おもしろい。	面白い。
盛り上げ上手。	かわいい。	かっこいい。	勇気がある。	足が速い。
元気。	運動が好き。	勉強が好き。	まじめ。	持ち直して、いる。
誰とでも仲良くし。	嘘をつかない。	おだやか。	物知り。	頼りになる。
最後までがんばる。	お助け上手。	仲間でも、チャレンジ。	がんばりや。	しっかりもの。
絵が上手。	お話しが上手。	そうじが上手。	たくさん、食べる。	きちんと、している。

◆ほかにもいいところがあれば、書いてみよう！

◆なりたいたい自分をイメージして、書いてみよう！

\_\_\_\_\_ (な) 人になりたい！

**友達のいいところさがし**

名前 \_\_\_\_\_

◆ \_\_\_\_\_ さんのいいところを選んで、○をつけてみよう！

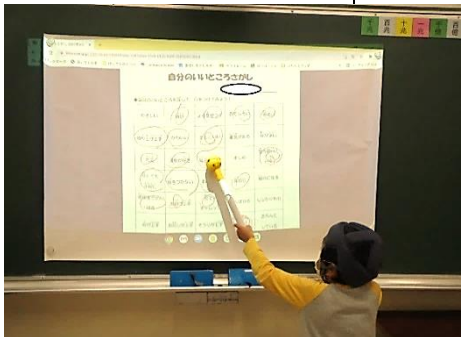
やさしい。	親切。	よく気がつく。	おもしろい。	面白い。
盛り上げ上手。	かわいい。	かっこいい。	勇気がある。	足が速い。
元気。	運動が好き。	勉強が好き。	まじめ。	持ち直して、いる。
誰とでも仲良くし。	嘘をつかない。	おだやか。	物知り。	頼りになる。
最後までがんばる。	お助け上手。	仲間でも、チャレンジ。	がんばりや。	しっかりもの。
絵が上手。	お話しが上手。	そうじが上手。	たくさん、食べる。	きちんと、している。

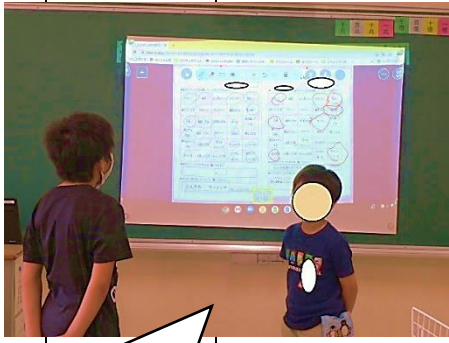
◆ほかにもいいところがあれば、書いてみよう！

◆ふりかえり どんなきもちになったかな？

うれしい びっくり かなしい いやだ →あてはまるものに○をつけよう！

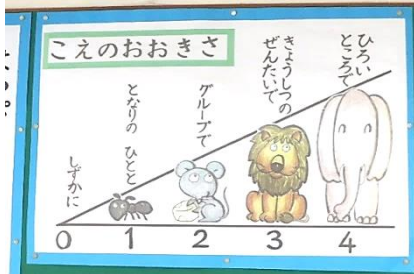
自分の発表で○の数はここに○をしよう。

	<p>※スクリーンに映すことで、みんなでも共有しやすくする。</p>	<p>A・C…緊張と失敗への不安でなかなか読めない。</p> <p>※教師やペアの友達と一緒に読むことを提案する。また本人は投影された該当部分を指し棒で示すよう促す。</p>		指し棒
--	------------------------------------	---	--	-----



事例のポイント⑥  
ICT端末やプロジェクターを活用することで、児童それぞれが書いたワークシートを共有できる。

- ◎B・G・H…大きい声で読める。
- ※良い発表の時にみんなの前で褒める。
- ◎E・F…はずかしさや緊張から、声が小さくなる。
- ※後ろの人まで声を届けるため「3の声」を思い出すよう声かけをする。



- ◎D…緊張で焦ってしまい、読み飛ばす。
- ※深呼吸を促し、ゆっくり話すように声かけをする。

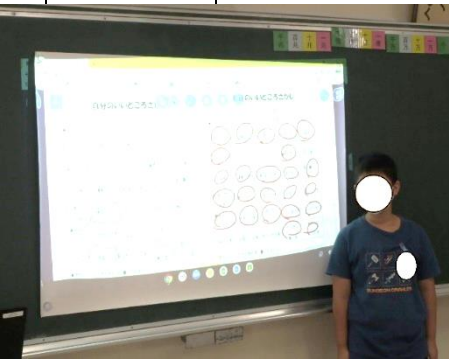
声の  
ものさし

□一人の発表が終わったら、そのほかに「いいところ」がないかを探して発表する。

事例のポイント②  
児童同士で意見を出し合うことで、自分や友達の良さに気付くことができる。

- ◎A・D・G…挙手せずに発表しようとする。
- ※挙手をしている児童から指名するなど、発表のルールを思い出せるようにする。
- \*発表のルールに沿って発言できる。

- ◎B・H…友達の「いいところ」をたくさん見つけて発表できる。
- ※友達の良さを見つけれられていることを褒めて、自信につなげる。
- \*友達の「いいところ」を見つけてたくさん発表できる。



- ◎C・E・F…うまく見つからなかったり言葉にできなかったりで、発表できない。
- ※挙手をしなくても、何度か意見を求める。すでに友達が発表したことでもよいので、意見が言えるように促す。

事例のポイント③  
集団の自立活動で、人との関わりを学ぶことができる。

- \*友達の「いいところ」を見つけることができる。
- \*発表して、友達に伝えることができる。
- 発表が終わったら、発表者に感想や、そう思った理由(どの言葉でそう思ったか)を聞く。

※うまく言葉にできない児童のために、表情と



言葉と一緒に  
なったカードを  
用意して支援する

事例のポイント①

うまく気持ちを表現できないときは表情カードを使うなど、個に応じた様々な発表を選択できるようにする。



\*一人一人「いいところ」が違うということに気付くことができる。

10分

4  
本時の振り返りをする。

- ワークシートに、感じたことや考えたことを記入する。
- 今日の振り返りをします。
- 今日の学習をして、どんな気持ちになりましたか。○を付けたり、自分の言葉で書いたりしてみましょう。

ワークシート

事例のポイント④

本時の学習を振り返ることで、学習内容が定着しやすくなる。また充実感を得られる。

- \*ワークシートのどの部分に書くかを前で示す。
- \*みんなの机を回りながら、個別対応をする。

◎A・B・D・G…

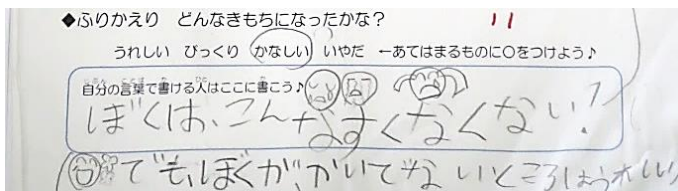
- どんなことを書いたらよいかわからない。
- \*いくつかの「気持ちの言葉」をワークシートに載せておくことで、選択肢として○をつけられるようにする。
- \*自分の気持ちを見つめ、それに当てはまる言葉を選ぶことができる。

◎C…うまく○がつけられない。

- \*教師が代筆することを提案し、教師にお願いできるよう促す。
- \*教師に「○をつけてください。」とお願いできる。

◎E・F・H…

- 自分の気持ちを言葉で表すことができる。
- \*自由記入欄を設けることで、言葉でも書けるようにする。
- \*自分なりに言葉で書ける。



- 何人かに発表してもらおう。
- \*発表の中で、全員に「自分の良さを認めてもらおうと嬉しい」ということを確認する。
- \*自分では気付かないが、周りから見たら「いいところ」がたくさんあることに気付くような声かけをする。
- \*自分では気付かなかった「いいところ」を知ることができる。

3分 5次時に行うことを確認する。

□次回は「なりたい自分」を考え、そうなるための具体的な目標を決めて、目標カードに書くことを説明する。  
 □ワークシートはプリントアウト後にマイノートに貼る。  
 ※のりがうまく使えない児童は、教師や貼り終わった児童が手伝う。

事例のポイント⑤  
 なりたい自分をイメージし、具体的な目標を決めることで自己を見つめる機会を設ける。

**目標カード**  
 自分が頑張りたい目標を3つ決めて書き、毎日振り返る。目標1つごとに、達成したらお団子を1つ塗れる。3つの団子が完成するように自分で頑張る。

**毎日がんばること**

① ちこくをしない日:15  
 ② しゅくたいを家でやる  
 ③ いいわるをけいふい大減価

月	火	水	木	金
			6	7
休	休	休	●●●	●●●
10	11	12	13	14
●●●	●●●	●●●	●●●	●●●
17	18	19	20	21
●●●	●●●	●●●	●●●	●●●
24	25	26	27	28
休	●●●	●●●	●●●	●●●
31	6月1日	2	3	4
●●●	●●●	●●●	●●●	●●●

### 7 本時の評価

A	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の「いいところ」と友達の「いいところ」を、発表のルールに従って、挙手して発表することができる。</li> <li>友達に自分の良さを認めてもらうことのうれしさに気付くことができる。</li> </ul>
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達の「いいところ」を見つけてたくさん発表することができる。</li> <li>自分では気付かない自分の良さがあることに気付き、自信をもつことができる。</li> </ul>
C	
D	
E	
F	
G	
H	

以下省略

### 8 備考

・教室環境図

